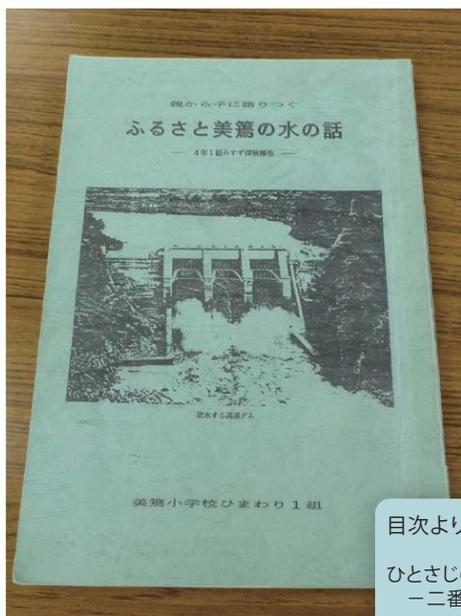


みすず みず はなし  
ふるさと美篤の水の話(出版物)

探検で学んだ美篤の水の恩

「ふるさと美篤の水の話」は、1995（平成7）年に美篤小学校4年1組（担任 諏訪博教諭）が1年間にわたって一番井と二番井を調べ、まとめた冊子である。郷土学習の一環として行われた教育成果の報告書であり、一番井や二番井さらに北原平八郎翁の苦勞が詳しく調べられている。小学4年生の児童が三峰川の洪水との戦いや利水開発の歴史を自ら調べ、将来に伝承していく意思を示した極めて優れた資料である。



本の表紙



写真上:六道堤 下:二番井の分水工



北原平八郎の碑

目次より

ひとさじの飯 翁の恩 忘するなかれ  
—二番井と北原平八郎—

『さんよどんよ』の歌が 聞こえる  
—六道堤と一番井—

荒れくるう水とたたかい 水を治める  
—三峰川総合開発と三六災害—

美しく豊かな美篤を求めて  
—石碑にみる土地改良—



本の影響

この本の及ぼした功績は多大であり、学習活動の成果が新たな桜堤防づくりにつながった。子ども達に刺激された行政により青島地区の桜堤防は補完され、区堤防も生まれ変わった。

information

□ アクセス  
(伊那市立美篤小学校)  
伊那ICから10km  
車→20分

□ 所在地  
伊那市美篤



(国土地理院の数値地図50000地図画像)を使用